

安全データシート

作成日 2024年7月31日

改定日 2024年12月6日

1. 製品及び会社情報

製品名 ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート

(Diethylene Glycol Monoethyl Ether Acetate)

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町 3-5-13

本町ガーデンシティテラス 3階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

推奨用途 溶剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

物理化学的危険性 該当する区分なし

健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

環境に対する有害性 該当する区分なし

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 強い眼刺激

注意書き

【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

必要に応じて個人用保護具(保護手袋、保護眼鏡)を使用すること。

【応急措置】 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続け、眼刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露またはばく露の懸念のある場合、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

他の危険有害性 爆発性の過酸化物を生成することがある。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名 ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート

別名 2-(2-Ethoxyethoxy)ethyl Acetate, Carbitol Acetate

濃度又は濃度範囲 $\geq 99.0\%$

化学式 $C_8H_{16}O_4$

CAS 番号 112-15-2

官報公示整理番号

化審法：(2)-744、 安衛法：公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末、泡、大量の水、二酸化炭素

特有の消火方法 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人用保護具（自給式呼吸器）を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 ウェス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 できれば密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱注意事項 あらゆる接触を避ける。

蒸留など加熱を伴う操作を行う場合には、予め過酸化物の有無を確認する。

使用後は容器を密閉する。

衛生対策 取扱い後は手や顔を洗う。

保管

適切な保管条件 密閉容器にて冷暗所に保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度 設定されていない

日本産業衛生学会 設定されていない

ACGIH 設定されていない

設備対策 ばく露を防止するために、密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設置する。

管理濃度 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

手の保護具 不浸透性の手袋。

目の保護具 保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20℃) 液体

形状 透明

色 無色

臭い 特異臭

pH 情報なし

融点 情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 218℃

引火点 107℃

自然発火温度 360℃

燃焼又は爆発範囲

下限 情報なし

上限 情報なし

蒸気圧 0.1hPa(20℃)

密度及び、または相対密度 1.011(20/20℃)

相対ガス密度 6.07

溶解度

[水] 混和

[その他の溶剤]

混和 エーテル, アルコール

易溶 アセトン

オクタノール/水分配係数 0.32

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 爆発性の過酸化物を生成することがある。
危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件 熱源、火花、裸火
混触危険物質 強酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 orl-gpg LD50 : 3930mg/kg

 orl-rat LD50 : 11g/kg

 orl-rbt LD50 : 4400mg/kg

 skn-rbt LD50 : 15100uL/kg

皮膚腐食性／刺激性 skn-rbt 500mg open MLD

眼に対する重篤な損傷／刺激性 eye-rbt 500 mg MOD

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC = 情報なし

 NTP = 情報なし

生殖毒性 orl-mus TDLo : 32g/kg(7-14D preg)

 skn-rbt TDLo : 3,250mg/kg(6-18D preg)

 orl-rat TDLo : 6,600mg/kg(7-17D preg)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 情報なし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 情報なし

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 魚類 : 情報なし

 甲殻類 : 情報なし

 藻類 : 情報なし

残留性/分解性 101%(by BOD), 95%(by TOC), 100%(by GC)

生体蓄積性(BCF) 3

土壌中の移動性 オクタール/水分配係数 : 0.32

 土壌吸着係数(Koc) : 2

 ヘリ定数(PaM³/mol) : 2.3 x 10⁻³

オゾン層への有害性 情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 国連の分類基準に該当せず。

国連番号 該当なし。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にいき、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性

16. その他の情報

なし。